

工場長級の材育成

名工大と豊田
自動織機など

9月から実践講座

名古屋工業大学（名古屋市昭和区御器所町）は、豊田自動織機、デンソー技研センターとともに

五ヶ月間（延べ二十三日間、百五十三時間）で、このほど受講生の募集を開始した。締め切りは七月十二日。

が、中堅・中小の後継者が、不足が深刻なことから、これをベースに事業化した。

「第一回工場長養成塾」を開講する。経営トップが工場改革に強い意欲を持つている中堅・中小企業を対象に、工場長クラスの人材を育成するのが目的。日程は九月下旬から翌年三月上旬までの約

経済産業省は平成十七年度から二年間にわたり、わが国の産業を支える製造現場の中核を担う人材を育成・強化するため、産学官連携による人材育成事業を実施した

名工大でのゼミ、デンソーカンターでの模擬ラインを活用した演習に加え、受講生の製造現場を持ち回りで教室にするなど、実践的で現場重視のカリキュラムが特徴。実践カリキュラムは

四人一グループの少人数制で、受講生の立場に立つた指導を行う。募集人数は二十四人。受講料は五十万円。問い合わせ

41)まで。

「第一回工場長養成塾」の受講生募集チラシ



1クラス4名の少人数制

主催：名古屋工業大学、豊田自動織機、デンソーカンター

会場：名古屋工業大学、豊田自動織機、デンソーカンター

会期：平成19年9月～翌年3月

会員登録料：24名

会員登録料：24名

会員登録料：24名

会員登録料：24名

平成19年6月4日(日)
中部経済新聞4面